

第4号様式

令和7年度 第2回 保土ヶ谷区障害者地域自立支援協議会 相談支援部会（定例会） 議事録	
日 時	令和7年5月9日（金）9:30 ～ 11:30
開催場所	1部顔合わせ・保土ヶ谷区役所 → 2部交流会・かるがも2階
出席者	ゆめ、恵和相談室、ハーモニー、てらん広場、偕恵いわまワークス、横浜市発達障害者支援センター、横浜市若葉台特別支援学校、たちほどがや、光風会相談センター、サポートセンターオリーブ、タキオンネクスト、コンシェル、かのん相談室、相談支援いっしょ。 はーとらんど、地域生活支援センター、西部療育センター わおん、夢21、区役所、生活SC、基幹 ※敬省略
欠席者	光の丘相談室、なないろいろいろ西横浜、更生相談所、みらいライフ、ウィング、オレンジよこはま よこはま包摂相談支援センター、常盤台病院、十愛病院、かけはし、延命法律事務所、西部就労支援センター、コペルプラス天王町教室、toiro 西谷、エススタイルほどがや
開催形態	公開（傍聴人： 名） ・ 非公開
議題	○1部顔合わせ：区役所、相談支援事業所自己紹介 ○2部交流会：グループワーク
議 事	<u>1、区役所・計画事業所の顔合わせ</u> ・区役所自己紹介 ・今年度の事務局紹介 ・参加事業所の自己紹介 <u>2、交流会 at かるがも</u> 10:00 グループワーク フリートーク 「業務の中での困りごと、共有したいことなど」 11:10 共有タイム 〈1 グループ〉 ・入所経験ある人が多かった。分かっているからこそ、中立性中立性を保つ難しさがある。 ・65歳になり、高齢に引き継ぐ時、相互の理解不足あり。包括との連携、高齢のみならず繋がれたら良い。 ・兼務、専任のそれぞれの大変さがある。 ・収益を考えて共同体制も検討したい。 〈2 グループ〉 ・近況、ケースで困っていること、聞いてみたいことについてを話した。 ・家族、世帯支援の必要性。8050 世帯、家族が支援者に任せられない場合は逆にサービス在りきで考えている場合がある。 ・記録の取り方、個別避難計画、BCP、GH 入居時の計画導入、共同体制の話があがった。 ・日頃から気軽に相談できると良い。

〈3 グループ〉

- ・モニタリングの書式について。内容、本人がみてわかりやすいもので区へのアピールになるもの、自体の工夫、イラスト使用など行っている。
- ・署名は出来るだけ本人に書いてもらう、急遽のサービス利用もあるので先を見据えた記載にしておくことが必要。
- ・自宅訪問以外で事業所訪問もあり。
- ・書類を取りそろえる時、違いを説明できることが必要
- ・加算の取り方など

〈4 グループ〉

- ・移動支援の受け手がない。移動支援を撤退している事業所や送迎のない生活介護も多い。
- ・報酬改定で経済的な厳しさが生じていることや人手不足も課題あり。
- ・かるがも共同体について。はじめは大変だが、基幹のバックアップでまわるようになった。分野の異なる4事業所でケース検討している。増えていくことで保土ヶ谷区の相談支援体制強化できると良い。
- ・児童の計画相談受け入れ先が少ない。
- ・兼務の時間のやりくりで苦慮している。
- ・余暇の充実支援が大事。

3，情報提供など

- ・事業所訪問【5月予定】

① 19日（月）PM 西部療育センター

② 21日（水）AM

③ 23日（金）15：00 相談支援いっしょ /田中・前沢・矢板・遠藤

- ・「相談支援部会構成機関一覧」について

4，まとめ挨拶

部会長より